やすらが丘 事業所自己評価・ミーティング様式 実施日 令和4年10月25日 (17:30 ~19:00)

やすらが丘中島・吉野・村重・野端・初村・福住・品川・中野・岩﨑・徳永

1. 初期支援(はじめのかかわり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	5人	人	17人

前回の改善計画

・利用開始までの時間や情報が限られており、カンファレンスを行うことは困難である。 アセスメントシートだけではわからないことが多いので、利用開始前には計画作成担当と担当職員が主になって 14:00のミーティングで具体的な情報の共有を行い、わからない情報を洗い出し、スムーズな初期支援に繋げる

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用開始前のカンファレンスは、やはり難しい。 しかし、病院の相談員や担当ケアマネジャー等から情報収集を行い、わかりやすいアセスメントシートが出来ている。 このシートを読んでおけば、おおよその状態が把握でき、初期支援が出来る。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミー ティング等を通じて共有していますか?	3人	11人	3人		17人
2	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず 必要としている支援ができていますか?	2人	11人	4人		17人
3	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声 掛けや気遣いができていますか?	3人	11人	3人		17人
4	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け 止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	9人	5人	1人	17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- アセスメントシートは、毎回の新規利用者分が、事前に出来ている。
- ・ 利用開始初期の声掛けは積極的に出来ている。馴染めるように気遣いは出来ている。
- ・利用開始までには、担当者が決めてある。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・アセスメントシートは出来ているが、事前にしっかりと頭に入ってない場合がある。
- ・アセスメントの情報と、現実が食い違う場合がある。
- ・家族との関係作りがうまくいってないことがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・ アセスメントシートは、病院の相談員や、ケアマネジャー、家族等から情報を集て作成。利用開始前に情報を共有。 情報と実際の状態が食い違う場合が出てくると思うが、支援を開始してからの情報も共有出来るように、連絡ノー ト日々のミーティングを利用する。

実施日 令和4年10月25日 (17:30 ~19:00)

2. 「~したい」の実現 (自己実現の尊重) メンバー中島・吉野・村重・野端・初村・福住・品川・中野・岩崎・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	6人		17人

前回の改善計画

・サービス提供会議(利用者毎、年に2~3回)の際にケアプランの長期目標・短期目標を読み上げたうえでカンファレンスを行うことで、本人の目標に沿った支援が出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・サービス提供会議の際のケアプランの目標の読み上げは出来ていなかった。限られた時間で行っているので、 どうしても、飛ばしてしまう。 しかし、定期的にカンファレンスを行う事で、現状の把握はしっかりと出来ている。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	9人	6人	1人	17人
2	本人の当面の目標「~したい」がわかっています か?	1人	10人	5人	1人	17人
3	本人の当面の目標「~したい」を目指した日々の かかわりができていますか?	1人	9人	5人	2人	17人
4	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?	2人	9人	6人		17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ モニタリングを行う事で自身の担当の事は把握出来ているが、全利用者の事となると、難しいという意見が多かった。 定期的にカンファレンスを行い、職員への情報伝達を行っている。
- ・大きな目標はともかく、目の前の小さな要望には対応するようにしている。
- ・入浴介助時は、利用者の方とコミュニケーションが取りやすいので、情報収集をするようにしている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の目標を、本人自身が分かってないこともある。そういう利用者の方のゴールを把握することは難しい。
- ・自分の担当等、限られた範囲の利用者の方の事は、把握できているが、全利用者の方までは出来ていない。
- ・日々の業務に追われて、一人一人の利用者の方と深いかかわりを持てていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・今まで通り、カンファレンスは、半年に一回ペースで行う。そこでの意見交換で、本人の目標に近づいていく。
- ・各職員の持っている利用者の方の情報、思いなどを、全職員に伝えるようにしていく。 その為の伝達方法としては、朝のミーティング、14時のミーティング、連絡ノートなどを活用する。 非公式の伝達手段として、職員同士の雑談も利用する。雑談で出た情報をまとめ、周知させれる手段を考えていく。

3. 日常生活の支援

メンバー中島・吉野・村重・野端・初村・福住・品川・中野・岩崎・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?		7人	10人		17人

前回の改善計画

・ 今後もひもときシートの活用を継続的に行っていき、ひとりの方に焦点を当てて、その人らしい暮らしが 支援できるようチームで取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

ひもときシートの活用は、初期段階では行ったが、継続できたとは言えず。 情報のチームでの共有が上手くいかなかった。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前 の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5人	9人	3人	17人
2	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基 礎的な介護ができていますか?	6人	9人	2人		17人
3	ミーティングにおいて、本人の声にならない声を チームで言語化できていますか?	1人	11人	5人		17人
4	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その 都度共有していますか?	4人	12人	1人		17人
5	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に 支援できていますか?	2人	13人	2人		17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ ひもときシートに関しては、出来ているという意見と出来ていないという意見が半々であった。 行うには行ったが、継続的には活用できていないということであろう。
- ・ 体調の変化などの基礎的な事に関しては、申し送り、朝・昼のミーティングで、その場の職員には確実に伝えられている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 担当の利用者以外は、あまり深く把握できていない。コミュニケーション不足、作業に追われての時間不足が 要因となっている。
- ・利用者本人の意思疎通の力が不足気味で、情報の収集が困難なケースがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・日々の関りから、得られた情報を、今まで以上に活用していく。各自が持っている利用者の方の情報を、文字に残し 共有できるようにしていく。

4. 地域での暮らしの支援

メンバー中島・吉野・村重・野端・初村・福住・品川・中野・岩崎・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	4人	9人	17人

前回の改善計画

・ コロナが治まり次第、家族を巻き込んで地域のイベント等に参加し、関係の構築と地域資源の活用をして行きたい。・選挙(投票)等の社会参加を呼びかけ、積極的に行っていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

・コロナの影響は続き、家族との面会外出ですら、解禁になったのは、一か月程度。この状況では、地域との関係を 構築するのは、難しい状況であった。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理 解していますか?	1人	8人	5人	3人	17人
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れない ように支援していますか?	1人	9人	5人	2人	17人
3	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8人	8人	1人	17人
	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源 等を把握していますか?	1人	4人	8人	4人	17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 直接の面会は、ほとんどの期間出来なったが、当事業所は1階のエントランスでガラス戸越しの面会が可能。 電話も使用し、顔を見て、会話も出来るようにしていた。
- 可能な限り、家族が来所した際には、最近の様子を伝えるようにしていた。必要があると思えば、電話での 連絡も行った。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナの影響で、地域との関係を保つことが難しかった。
- ・職員によっては、家族との連携、連絡がまだまだ不足していると感じていた。
- ・ 通い利用者の方では、自宅に帰った時の状況が詳しく分かっていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・ コロナが治まるようならば、とにかく外出の機会を増やしていきたい。事業所のイベントでもよいし、家族との外出のアシストを行うことでもいいので、機会を増やしていく。
- ・地域のイベントの情報を収集し、可能な限り参加をしていく。

実施日

令和4年12月27日 (17:00 ~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中島・吉野・村重・初村・磯部・菅藤・福住・品川・中野・武 永・水戸・門出・国弘

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	3人	2人	17人

前回の改善計画

・地域資源についての勉強会をし、どのようなものがあり、どのような時に活用できるか知る機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域資源についての勉強会は行った。知識は得たが、松涛会グループ外の地域資源を活用出来てはいない。
- ・松涛会グループ内には、様々な機能、施設があり、活用させてもらっている。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	5人	10人	1人	17人
2	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当 適切に提供されていますか?	7人	9人	1人		17人
3	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	10人	2人		17人
4	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて 柔軟な支援ができていますか?	2人	13人	2人		17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・通い、泊りの利用は、家族の希望通りに行えている。
- ・ 地域資源も使用可能なものは活用している (スワン美容室など)
- ・ 日々の申し送り、14時のミーティングでの、利用者の方の状態の変化の共有は出来ている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 地域資源の活用がまだまだ少ない (コロナの感染状況の為)
- ・利用者の方の、介護度が高すぎるとの意見もあった。住宅型の有料老人ホームなのだから、介護度が低く自立度の高い方が、多くなければおかしい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・申し送りや14時ミーティング、連絡ノートを利用し、情報の共有を図っているつもりであるが、連絡漏れや 情報の取り違えもあり、完璧に出来ているとは言い難い。情報共有の精度を上げていく。

実施日

令和4年12月27日 (17:00 ~18:30)

6. 連携·協働

中島・吉野・村重・初村・磯部・菅藤・福住・品川・中野・武 永・水戸・門出・国弘

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?		4人	11人	2人	17人

前回の改善計画

- ・職員が地域について知る機会を作るために、地域の情報(広報誌)を閲覧できるようにする。
- ・コロナ等の状況に応じて少しでも地域活動へ参加していきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 地域の広報誌はファイリングされ、閲覧できる状態になっている。
- ・今年度の状況では、地域活動への参加は難しい状況であった。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	4人	7人	5人	17人
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人	2人	8人	6人	17人
3	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人 会、消防団等)の活動やイベントに参加していま すか?	6人	5人	6人		17人
4	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業 所を訪れますか?	4人	9人	4人		17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の広報誌はファイリングされている。・医療、福祉用具に関しては、しっかりと連携が取れている。
- ・昨年度末であるが、避難訓練で消防署と関りを持てた。
- ・ハロウィーンイベントで、隣の安岡KIDSの子供達と交流を持てた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

運営推進会議さえ開催出来ていない状況では、地域と連携協働を行えたとは言えない。

次回までの具体的な改善計画

- ・ 松涛会のみではなく、他の医療機関とも連携を強めていく。・ 状況が許せば、地域のイベント等に出向き、消防訓練等は、参加してもらう。

実施日

令和4年12月27日 (17:00 ~18:30)

7. 運営

メンバー 中島・吉野・村重・初村・磯部・菅藤・福住・品川・中野・武 永・水戸・門出・国弘

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?		5人	10人	2人	17人

前回の改善計画

・ ご家族・介護者、外部の方からの苦情があるかわからない 運営についてあまり知らないという意見があった。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 本年度から、事業所長の交代があったので、運営、業務については事業所長、職員共に手探りな状況。運営について全職員に分かるように説明出来てはいない。
- ・ 苦情に関しては、周知するように努めたが、連絡の漏れもあった。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	事業所のあり方について、職員として意見を言う ことができていますか?		11人	4人	2人	17人
	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に 反映していますか?		15人	2人		17人
3	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していま すか?		5人	10人	2人	17人
4	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に 地域と協働した取組みを行っていますか?		4人	9人	4人	17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 苦情に対しては、話し合い対策を考え実行出来ていた。松涛会全体に対する苦情に関しても、情報を伝え、 事業所でも改善するようにした。
- ・①の項目の票のバランスを見ると、比較的、意見を言いやすい環境だと考えれる。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 運営についての知識が不足している。という意見があった。知識を増やす機会を提供できていない。
- ・ 意見が言いやすいかどうかは、職員によって「やさしい」、「怖い」の印象が違うので、偏った意見のみが 反映されがちである。

次回までの具体的な改善計画

- 事業所の運営について様々な意見があってよいと思う。意見を聞き出す機会を増やしていく。 意見を求められた側は、自身の意見をしっかりと伝える事が出来るように、日頃から考えをまとめておくように する。
- ・ 苦情に関しては、施設側に対する期待の表れという捉え方にする。期待されていないと、苦情さえ言われないよう になるものである。

実施日

令和4年12月27日 (17:00~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中島・吉野・村重・初村・磯部・菅藤・福住・品川・中野・武 永・水戸・門出・国弘

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	6人	5人	17人

前回の改善計画

- ・ 外部研修の情報ファイルを作る(各自年1回は外部研修に参加する)
- ・ 積極的に資格を取得することで、質の向上を目指す。(介護福祉士、介護支援専門員等)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・情報ファイルは出来ているが、各自の外部研修参加は、ほとんど出来ていない。Web研修が増えてきているのを生かせていない。
- ・ 資格取得の為の研修(介護福祉士実務者研修)に参加者を3名出した。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3人	5人	5人	4人	17人
2	資格取得やスキルアップのための研修に参加でき ていますか	2人	3人	7人	5人	17人
3	地域連絡会に参加していますか		2人	6人	9人	17人
4	リスクマネジメントに取組んでいますか		11人	5人	1人	17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 職場内研修の実施は、ミーティングを行った際には並行して行っている。
- ・ 介護福祉士実務者研修に3名参加した。
- ・ リスクマネジメントについては、研修も行い、危険に繋がりそうな事案は、ヒヤリハットを記入に、閲覧出来るようにしている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 外部研修への参加は、コロナの感染状況もあり、ほとんど出来ていない。Web研修も増えてきているが、 うまく生かせていない。
- ・ ヒヤリハットは記入し、閲覧はしているが、同様な事が繰り返し発生している。ということは、活用出来ていない ということであるという意見もあった。

次回までの具体的な改善計画

- ・ 外部研修への参加は、人員数の都合などもあり、参加が難しいことがある。Web研修の活用を進めて行く。 パソコンの操作に不安があるという場合は、操作法を教えるようにする。
- ・リスクマネジメントの観点から、ヒヤリハットは重視する。記入漏れ、確認漏れを減らすだけでなく、内容を 理解し、危険防止に繋げていく。

実施日

令和4年11月22日(17:30~19:15)

9. 人権・プライバシー

中島・吉野・野端・初村・菅藤・福住・岡本・中野・岩﨑・武 永 · 国引

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	14人	2人		17人

前回の改善計画

- ・ 有料老人ホームのケア記録ファイルがホールに出したままになっている場合があるため、記入後は所定の場所に 直す
- 接遇の自己評価・他者評価を継続して行うことで、不適切なケアに気づけるようにする。
- ・ 虐待防止のための研修を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 接遇面については、お互いにチェックを行いレベルアップを図りたかったが、出来ていない。ミーティング時に 行う予定であったが、コロナの影響で12月までに3回中止があった。その為に時間が作れなかった。
- ・ 虐待に関しては研修は行っている。今後も繰り返し行い、周知徹底させていく。

◆今回の自己評価の状況

	確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	身体拘束をしていない	5人	11人	1人		17人
2	虐待は行われていない	6人	9人	2人		17人
3	プライバシーが守られている	3人	10人	4人		17人
4	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	1人	5人	10人	17人
5	適正な個人情報の管理ができている	4人	10人	3人		17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ファイルの保管に関しては、意識が出来て、フロアーに出しっぱなしということはなくなった。
- 身体拘束や虐待は行われていない。
- プライバシーに関しても、可能な限り守っている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・プライバシーに関しては、危険防止と秤にかけた上で守っている。危険な立ち上がり等が危惧される方に対しては トイレ、居室の戸を少し開けて、中の様子が見れるようにしたりすることがある。 言葉遣い、介助動作に関しては、もっとレベルを上げれるはず。
- ・ 安全を重視するあまり、危険な行為に対して、強い口調で注意する事がある。

次回までの具体的な改善計画

- 無意識に不適切ケアを行っている場合があると思う。マナーチェック等のツールを使って、話合い、お互いに意識 し、改善していく。
- ・虐待に関しては、研修も行うが、ミーティングでも毎回、グレーゾーン等の事例を挙げ注意喚起を行う。